

# 千倉協事務局からのお知らせ

( 2 9 5 )

令和 7 年 3 月 3 1 日

千葉県倉庫協会事務局

TEL : 043-307-1581 FAX : 043-307-1582 E-Mail : chibakyo@s8.dion.ne.jp

## 《今月号の記事》

1. 第 2 回品目別部会・全体会議・講演会を開催しました
2. 令和 6 年度第 4 回総務委員会を開催しました
3. 「第 7 8 回通常総会」の開催について
4. 千葉県倉庫協会会長表彰の推薦について
5. 「今後の行事等」予定
6. 事務局からのお願い
7. 3 月 5 日開催の品目別部会報告

☆ 研修・セミナーの案内等は e メール・電話等により請求いただければ、再送いたします。

☆ このお知らせは各会員の連絡担当者の方に配布しております。皆様にご覧になれるようご配慮をお願いいたします。

☆ 異動等で連絡担当者に変更になる場合及びメールアドレスが変更になる場合には、ご連絡をお願いいたします。

☆ 関総連 5 協会とは、茨城、群馬、栃木、山梨と千葉県倉庫協会です。

6 協会とは東京倉庫協会を加え、7 協会とは神奈川倉庫協会を加えます。

## 1. 第 2 回品目別部会・全体会議・講演会を開催しました

令和 6 年度第 2 回品目別部会・全体会議は 3 月 5 日（水）ホテルグリーンタワー幕張において開催しました。4 部会の会議には 4 4 名の参加をいただき、全体会議後の講演会は 4 7 名が参加していただきました。

## 2. 令和 6 年度第 4 回総務委員会を開催しました

令和 6 年度第 4 回総務委員会は、3 月 1 9 日（水）に開催しました。議事内容は、1 2 月以降の役員、委員の交代、会員の移動、主な活動状況、仮決算等報告され、次に審議事項は今後の行動予定及び第 7 8 回通常総会の議案書（案）等が承認され、理事会に提案します。

### 3. 第78回通常総会の開催について

第78回通常総会は次のとおり開催します。事務局では、会員の皆様の参加をお待ちしております。尚、欠席の場合は「委任状」の提出をお願い致します。また、千葉県倉庫協会・千葉食糧保管協会合同懇親会も予定しております。

また、翌日22日には有志によるゴルフコンペを鴨川カントリークラブで開催をいたします。

日 時 5月21日(水)

場 所 鴨川グランドホテル

鴨川市広場 820 TEL 04-7092-2111

開始時間は次のとおり

14:00 千葉県倉庫協会第78回通常総会・協会長表彰

16:00 千葉食糧保管協会第44回通常総会

18:00 千葉県倉庫協会・千葉食糧保管協会合同懇親会

### 4. 千葉県倉庫協会会長表彰の推薦について

1月5日に倉庫業の永年勤続者候補者推薦を案内したところ、会員の皆様からの沢山の推薦がありました。

4月の理事会で審議し、受賞者を決定します。5月21日千葉県倉庫協会第78回通常総会において、千葉県倉庫協会会長表彰を行います。

### 5. 「今後の行事等」予定

4月23日(水) 午前： 第224回理事会

5月21日(水) 午後： 第78回通常総会

### 6. 倉庫業に係る定期報告・・・事務局からのお願い・・・

定期報告書は、皆様から報告いただいたものを集計して、皆様にお返ししています。

また、皆様に代わり関東運輸局に報告しております。

皆様からの報告が遅れますと、関東運輸局への報告も遅れますので、お忙しいところ恐れ入りますが提出期限について、よろしくお願い致します。

報告書の提出期限・・・毎月翌月の20日・・・協会への提出期限です

- 月末倉庫使用状況報告書
- 受寄物入出庫高及び保管残高報告書

## 7. 品目別部会 各部会発表内容

### A. 【穀肥・食料品部会 報告】

本日の穀肥・食料品部会は、13社15名が参加されました。

#### 1 米穀関係

##### (1) 令和6年12月末現在の在庫状況等

ア 米 34,341 トン（前年同期 34,097 トン、244 トン増加、100.7%）

イ 令和6年10月～12月の3ヶ月平均

- ① 入庫動向 8,348 トン 前年同期 9,104 トン ▲756 トン減少
- ② 出庫動向 6,960 トン 前年同期 8,090 トン ▲1,130 トン減少
- ③ 残高動向 31,692 トン 前年同期 31,573 トン 199 トン増加

##### (2) 会員各社の現況と課題

ア 現況

- ・平成22年10月から、政府所有米穀の販売等業務の包括的な民間委託により保管業務を行っています。保管経費の計算方式が、令和6年度契約から保管料金の計算が、期末在庫数量方式が全て一般的な積数計算方式となりました。
- ・保管料単価については、10～15%の引き上げをお願いし理解は得られた。

イ 課題

- ・令和の米騒動とマスコミを騒がしていますが、6年産米は集荷団体であるJA全農から入庫は無く、卸売業者や新規業者からの保管依頼が増えた。  
しかし、小ロットでデッドスペースが増え保管効率が悪い。
- ・米はカビや害虫の発生防止のため、庫内温度を15℃以下に保っています。温暖化の影響により外気温が高く冷房装置の稼働期間が長くなっています。民間米は低温割増料金がありますが、政府米は通年料金のため倉庫負担になっています。  
今後も電気料金の値上げが想定されることから、政府米にも低温割増料金の設定が必要。

#### 2 麦関係

##### (1) 令和6年12月末現在の在庫状況等

ア 麦 157,498 トン（前年同期 151,793 トン、5,705 トン増加、103.8%）

イ 令和6年10月～12月の3ヶ月平均

- ① 入庫動向 80,427 トン、前年同期 73,164 トン 7,263 トン増加
- ② 出庫動向 83,206 トン、前年同期 83,052 トン 154 トン増加
- ③ 残高動向 161,384 トン、前年同期 170,093 トン ▲8,709 トン減少

##### (2) 会員各社の現況と課題

ア 現況

- ・入庫は前年並み、荷動きが好調のため保管在庫は減少している。
- ・インバウンドの需要で出庫はコロナ前へ回復している。

#### イ 課題

- ・2025 年 4 月から荷役料は引き上げますが、保管料については認めていただけない。
- ・サイロ設備の修繕費用が高騰している。

### 3 飲料関係

#### (1) 令和 6 年 12 月末現在の在庫状況等

ア 飲料 67,330 トン（前年同期 53,309 トン、14,021 トン増加、126.3%）

イ 令和 6 年 10 月～12 月の 3 ヶ月平均

- ① 入庫動向 127,014 トン、前年同期 101,093 トン 25,921 トン増加
- ② 出庫動向 124,151 トン、前年同期 100,064 トン 24,087 トン増加
- ③ 残高動向 66,506 トン、前年同期 51,366 トン 15,140 トン増加

#### (2) 会員各社の現況と課題

##### ア 現況

- ・焼酎、缶チューハイは好調、酒税の変更もありビールの動きが良くなった。
- ・夏は例年スペースが不足していたが、飲料メーカーの原料値上げもあり販売が伸びていない。
- ・顧客が倉庫を建てたため入庫が減った。

##### イ 課題

- ・荷役料、保管料の引き上げ要請はしているが、今期は決着しない倉庫もある。
- ・運送は協力会社を使っているが値上げ要請がきている。

### 4 缶詰・びん詰

#### (1) 令和 6 年 12 月末現在の在庫状況等

ア 缶詰・びん詰 4,364 トン（前年同期 4,867 トン、▲503 トン減少、89.7%）

イ 令和 6 年 10 月～12 月の 3 ヶ月平均

- ① 入庫動向 2,705 トン、前年同期 2,817 トン ▲112 トン減少
- ② 出庫動向 2,702 トン、前年同期 2,784 トン ▲82 トン減少
- ③ 残高動向 4,603 トン、前年同期 4,999 トン ▲396 トン減少

#### (2) 会員各社の現況と課題

##### ア 現況

- ・売上は微減の 97%になった。
- ・料金改定は 3 巡目に入っている。

##### イ 課題

- ・保管料が変わらない。

## B.【原材料部会 報告】

本日の原材料部会は5店社7名で開催いたしました。

当部会の加盟店社の主な取り扱い貨物は、「木材、非金属鉱物、非鉄金属、鉄鋼」となります。

### 1.「木材」について

木材は2店社、北欧や一部北米からの輸入製材や東南アジアからの輸入合板を取り扱っております。輸入製材の店社統計としましては、2024年上期はコンテナ40F×310本/16,430m<sup>3</sup>を取り扱い堅調に推移しましたが、懸念材料であった一戸建て住宅着工数の低下が的中し、2024年下期は半分以上となる40F×150本/7,950m<sup>3</sup>を予想しております。背景としましては、円安基調であったことから、製材メーカーが国産製材及び北米材を輸出するマーケットを開拓したことで輸入は減少し、他業者扱いとなった輸出が増加しております。2025年上期は円高基調であれば輸入増加に期待を持てる一方、アメリカ関税政策の先行きによっては原材料である丸太が北米産であることから仕入れにブレーキがかかる懸念があります。

輸入合板の店社統計としましては、40F×300本/12,600m<sup>3</sup>、バルク船4,000m<sup>3</sup>を取り扱っておりますが、輸入製材と同様に円安の長期化や住宅着工数の低下、国内品の価格低落が影響し、2024上期比で15-20%減少する予想です。需要が減少傾向にある中、当用買いの動きが加速し、2025年上期も様子見の姿勢が続くと予想しております。背景としましては、一部の在庫に枯渇感はあるものの、原木不足や現地人件費の上昇に起因する仕入れ価格の高騰により仕入れが難航しております。また、インバウンド需要による大規模開発や商業施設の着工数の増加が期待されておりましたが、建築資材の高騰や職人不足により、着工見合わせが多く伸び悩んでおります。

### 2.「非金属鉱物」について

非金属鉱物は1店社、中国産品の製鉄所や耐火物レンガ製造工場で使用する耐火鉱物を取り扱っております。店社統計としましては、2024年上期は20F×42本/850tでしたが、2024年下期は20F×121本/2,400tと好調に推移しております。2025年上期は鉱物商社曰く、例年通りの取り扱いとの見解ですが、現場感覚としては2024年下期末には落ち着くと予想しております。

### 3.「非鉄金属」についてご報告いたします。

非鉄金属は1店社、鉄が主成分である鋼以外の金属を取り扱っております。特にベトナム産品、南アフリカ産品やインド産品が増加しておりますが、オーストラリア産品は豪雨に伴う災害復旧が長引き減少傾向にあります。店社統計としましては、2024年下期は入出庫9,000t、2025年上期は入出庫10,000tと増加する見込みです。背景としましては、君津製鉄所の厚板工場の大規模改修は完工し、生産品目が増加され稼働中ですが、高品質の生産にシフト稼働していることから、増産には繋がらないものの副原料の使用は増加傾向にあります。また、アメリカ関税政策の影響は自動車関連が悪化することで間接的な影響があると推察されます。

#### 4. 「鉄鋼」について

鉄鋼は2店社、1店社は国内産鉄鋼の薄鋼板・形鋼・丸棒を取り扱っております。幅広い用途の薄鋼板は2024年下期、2025年上期共に例年通りの見込みです。建築の構造材や建築物の骨組みとして利用される形鋼は、建築関係の低迷や2024年問題に起因する人員不足等で生産が制限されたことから減少しております。また、自動車部材に利用される丸棒もトラック関連の不正問題が起因した減産により大幅に減少しております。形鋼、丸鋼共に2025年上期も同様に低迷する見込みであり芳しくない状況です。その他、1店社は韓国産や中国産の輸入コイルを取り扱っております。店社統計としましては、2024年下期が20.7万t、2025年上期は18.7万tに減少すると予想しております。また、問題視されておりました輸入鋼材船の滞船問題につきましては、各店社の庫腹状況と仕入れのコントロールができないことから最大1ヶ月程度の滞船が常態化しております。

### C. 【機器製品部会及びトランクルーム部会 報告】

本日は5社9名の出席をもちまして意見交換を行ってまいりました。  
当部会加盟企業の取扱いとしましては金属製品、電気機械、その他機械、繊維系製品、雑品・雑貨、トランクルーム及び文書保存です。

千葉県内における第3四半期の動向として、前年に比べ、入在庫数量・残高数量の共に安定もしくは上昇基調にあるようです。特に今年に入ってから保管数量の増加が顕著となっております。昨夏の酷暑影響は空調機器の関連商品中心に荷動きが活発になっておりました。

業界全体としては、機器製品（特に電子機器や精密機器）の保管量は、技術革新や新しい製品の登場に伴い、増加しています。

例えば、コンシューマーエレクトロニクスや産業機器、さらには医療機器などの分野で保管が求められる製品が増え、その保管量は年々増加しており、特に電子機器分野では、日本国内における家電やスマートフォンなどの在庫量が増加しており、その保管施設の数も増加しています。

また、産業機器や半導体関連製品などの保管に特化した倉庫の需要も高まり、機器製品の保管量は全体で増加しているものと捉えております。

トランクルームの動向につきましては、本日トランクルーム事業者様の出席がありませんでしたので具体的なお話を聞く事は出来ませんでしたが、都市部での住宅スペース不足やライフスタイルの多様化により、トランクルームの需要は急増しています。特に都市部では、個人向けの収納ニーズが高まっており、トランクルームの契約数は年々増加しています。さらに、企業の在庫管理スペースとしてもトランクルームが利用されることが増えていきます。

日本のトランクルーム市場規模は、2020年代初頭においては数百億円規模とされ、特に都市圏では需要が急増しており、トランクルーム利用は過去数年間で年率10%以上の成長を記録しており、今後も需要の増加が続くのではと推察します。

## D.【化学品部会 報告】

本日の化学品部会は 10 店社 15 名で開催いたしました。

### 1. 各社の倉庫情報（総括）

#### ① 【石化樹脂関係】

- \* 昨年より取扱量が減少しており、各倉庫、在庫が 100%に達したことがない。
- \* 脱プラスチックの風潮が世間に蔓延しており、メーカーの生産量は、この先も減少が見込まれる。
- \* 汎用樹脂は多岐にわたり使用されており、直ちになくなることは無いと思われるが、販売不振による在庫の積み増し、生産調整(減産)、SDM(大規模定期修理)前の在庫の積み増し、というサイクルを繰り返している。今後も、このサイクルが継続すると思われる。
- \* 石化メーカーの業績は上向いているが、半導体関連、ヘルスケア、通信・情報関連素材で利益を上げていて、汎用樹脂の販売は、低迷しており、汎用樹脂で、この先も庫複を満たしていけるのか、先行き不安である。
- \* 日本の石化メーカーは、生産設備過剰状態にあり、各社で統廃合を検討しているが進歩が見られない。今後も取扱量は、低迷が見込まれ、また、石化メーカーの先行きも不透明であり、メーカー各社の動向を注視する必要がある。

#### ② 【危険品・液体関係】

- \* 保管している主要商品は、インク、塗料の原料。
- \* デジタル化が拡大し、紙媒体の減少に伴い、取扱量は年々減少傾向にある。
- \* 今後も減少が続くと思われ、代替品確保が課題となっている。
- \* 代替品を選定するにあたり、危険品である為様々な法令に適應することが必要で、現状の設備で保管出来ない商品があり、設備投資が必要となると思われるが、そのタイミングをどのように見定めるかが、課題となる。

### 2. 要員不足に関して

- \* 各社とも事務職員、現業職員が不足の状況にあり、要員確保が大きな課題となっている。
- \* ハローワークに求人を出しても、なかなか応募者が来ないのが現状である。また、採用しても短気で離職する人が多く、労働条件、労働環境の改善が必要な時期に差し掛かっている。
- \* 新規採用が進まないの各社、定年延長を計画、実施して要員不足を補おうとしている。
- \* 各社、若年層の定着率が低く、社員の高齢化が進行している。効果的な対応策を、見いだせておらず、大きな課題となっている。

### 3. 総括

- ① 汎用樹脂は多岐にわたり使用されており、直ちになくなることは無い。しかし、石化メーカーは、半導体関連、ヘルスケア、通信・情報関連素材で利益を上げており、今後、それらの生産に資本を投入し、拡大させて行くものと思われる。今後、我々倉庫業者は、それらの保管方法、設備投入を検討する必要がある。
- ② 危険品・液体は、デジタル化が拡大し、紙媒体の減少に伴い、取扱量は年々減少傾向にある。今後、更に市場規模が縮小すると思われる。倉庫業者は、代替貨物の獲得が、課題となりつつある。

#### 千葉県倉庫協会のホームページ

<http://www.soukoweb.jp/chiba/index.htm>

- ① 事務局からのお知らせ
- ② 会員のページ（毎月の残高報告）